

静岡県・賀茂地区学校保健研修部養護教諭 臼井様からのご報告

神奈川県看護協会 災害救護対策委員会では災害看護関連情報を作成しホームページに掲載しています。災害看護関連情報は、ホームページからダウンロードしてリーフレットとして活用いただけるようになっています。

今回、静岡県・賀茂地区学校保健研修部養護教諭 臼井様より、神奈川県看護協会のリーフレットを広報紙の作成や、消防署の救急救命士を講師に開催した実技講習に活用したとのご報告をいただきました。また、これらの活動をまとめて静岡県下で「研究発表」としてご報告をされたとのこと。減災に向けた【看護の絆】が県を超えて広がる思いがします。

静岡県・賀茂地区学校保健研修部養護教諭 臼井様からのご報告

*南伊豆町では毎年、町内の回覧板を活用し保健だよりを作成しており、令和2(2020)年のテーマが防災だったため、「身近なものでできる応急手当」を特集の1つとして神奈川県看護協会のリーフレットを参考に新たな資料を作成しました。保健だよりは後日、地域の防災訓練の際に全戸配布したいと申し出をいただきました。またこれを活用した実技講習が実施されました。

神奈川県看護協会のリーフレット及びその他機関の情報を基に作成した広報紙の一部

身近な物でできる応急手当

災害時にけがをしたときは、手当てに必要な物がすぐに取り出せない、避難先に十分に物資がないなど、手当てしにくい場合があります。もしも今災害が起きて、自分や周りの人がけがをしてしまった時、すぐ近くに救急グッズがなくても、皆さんの周りのもので代用ができるかもしれません。一例を紹介します。

骨折等の固定

用意するもの→ペットボトル大1、調理用ラップ、レジ袋1、はさみ



患部の関節を保護するようにペットボトルを当てる。



手首から腕に調理用ラップを巻いていく。



ねじるように巻くと、ひたっと巻けます。



肘の近くまで巻く。



レジ袋を用意する。



つり手の横に切り込みを入れ、高さを2cm残して切る。(左右同様に)



つり手の部分に頭を通し、指先の方からゆっくりとレジ袋を腕に通す。

☆完成☆

傷口の保護

用意するもの→ストッキング、はさみ、清潔なハンカチやバンダナ



ストッキングの足首と足の付け根の部分切る。



中央からはさみを入れて筒状のものを1枚に切り開く。



左右両側に10cm程度の切り込みを入れる。



左図の①と②、③と④を結びつける。



清潔なバンダナを当てる。



バンダナの上からストッキングをかぶせる。



紐状の部分を後ろで交差させる。



前に持ってきて、患部に当たらないところで結ぶ。

*神奈川県看護協会のリーフレット及びその他機関の情報から新たな資料を作成し、消防署の救急救命士を講師に招いて身近なもののできる応急手当についての実技講習を行いました。

応急手当講習



講師：下田消防署救急救命士



身近なものを使った
応急手当実習

※静岡県学校保健研究大会・実践発表プレゼンテーション画面より

*2024年に開催された静岡県学校保健研究大会の様子
伊豆半島南部地域の養護教諭が減災活動に取り組んだまとめを、静岡県下の養護教諭及び学校保健関係者が集まる大会において発表しました。



このような活動は、自助・共助を育み減災活動につながることを感じます。

神奈川県看護協会では、リーフレットの動画化も始めました。

同じくホームページで公開されておりますのでご利用ください。

神奈川県看護協会は、今後も防災・減災活動に繋がるよう情報発信を続けて参ります。

2024年12月 危機管理課